

Think Big!

25 春闘で職場活動の強化を展開し、

全組合員で目指してきた!!

会社の不法行為を許さず、安全第一、真の笑顔と活気あふれる職場づくりへ。2025 賃金引上げの会社回答の現場からの意見・声。

- ・休勤が生活給になっています。物価上昇に負けない賃金の向上を、年末手当や来年の春闘にも、つなげていきたい。
- ・最近の自分の給料は休日出勤を多くしている中での給料なので、25春闘の結果が果たして休勤をしていない時の給料と比べて多くなっているのか…の実感が、まだ持てません。
- ・賃金も夏季手当も昨年と対比すれば増えていることは分かります。ただ、最近の物価高騰と比べると、今回の春闘の結果が物価高騰に追い付いたのかを、まだ分かりません。
- ・夏のボーナスでは「3.0ヵ月」を、会社は出してほしかった。ただ、「2.8ヵ月」という数字は、従来の夏の数字に近づいていることは感じました。
- ・満額回答の結果ではありませんが、組合の情報紙にあるように「過去最高の額」を会社に回答させたことは、良いことと思っています。
- ・ある程度の額になったことは感じます。しかし、社会の物価高騰には、今回の賃上げでも、まだ届いていません。JR 東日本はリーディングカンパニーとして賃金でも社会を引っ張って欲しい。
- ・会社は社員へ「ヒトの起点…」と言うなら、労働の対価の「賃金」をこれからも示してほしい。人に投資することを会社はしっかりやらないと、今後も優秀な社員は離職してしまう。
- ・今までと比べれば確かに会社も頑張ったことは理解しますが、現実にかかるお金・物価の上昇と比べると、この数字では全く足りていません。
- ・ボーナスは「年間で6.0ヵ月以上」を目指したい。夏のボーナスが2.8ヵ月なので、これからは冬のボーナスへ…と、つなげていきたい。
- ・コロナの時に会社が「定期昇給の1/2の実施」や「ボーナスの抑制」をしたことを、これからも忘れない。25春闘の会社の回答内容は、「当然だ!」と思っています。
- ・ジョブ施策や統括センター施策など会社の「施策の乱発」、そして現場の「要員不足の問題」。鉄道の安全が崩壊をし、安全につながる人材やチームワークは地道な積み重ねが必要。新幹線の分離の出来事など、社員が社会から「後ろ指を指される」ことになっている。
- ・年末手当も「上げていく」ことを目指したい。そして、会社にはしっかりと「鉄道の安全」も、考えさせていきたい。